

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2011. 11. 7

No. 59

気働きが出来るか？！

社会に出たとき、物事をスムーズに行うためには「気働きがどれだけ出来るか」が大切となります。

いつも人から言われないと何をしたら良いのかわからないようではだめです。その場その場で自ら気働きをして何をしたらよいかをきちんと考え、かつ**自分から進んで動けることが大切**です。特に会社に入れば、一つ一つ上司が指示をしてくれるわけではありません。いつも言われたことしかできないようでは「使えない」と言うことになってしまいます。

そのためにも**周囲の状況判断が出来、今何を自分がやったらよいのかを自ら察知すること**です。そうした感覚を磨いていないと、組織の中では通用しなくなるでしょう。それは日頃の訓練である程度身につけていくものです。もちろん会社等に入った当初は何をしたらよいのかわからないでしょう。それはやむを得ないことです。しかしいつまでも同じようなことを聞いたり、注意されるのではなく、早く自分で状況判断が出来るよう心がける必要があるでしょう。それが早く出来るようになるかによって皆さんの真価が決まってきます。



周りの人に

何かしてもらうのを
待っていてはいけないよ。

まず自分から動くんだよ。

自分から動いて、

できることほどにかく

自分から進んでやってあげなさい。

そうしたら本当に困った時に、

その人たちが必ず助けてくれるよ。

(日本人にしかできない「気づかい」の習慣、

上田比呂志)



文化の日によせて

11月3日は文化の日でしたが、そもそも文化とは何か。また文化なるものを私たちはどう受け止めたならば良いのか少し考えてみましょう。

まず文化とは広辞苑によれば"人間が自然に手を加えて形成してきた成果のこと。衣食住をはじめ、技術・学問・芸術・道徳・宗教を含む"とのこと。もっと噛み砕けば人間の作り出したものということでしょうか。日本の文化とか若者文化とも言い、その意味するものはだいぶ広く、人により定義は色々でしょう。ただ文化というものは平和な時代に、しかもゆったりとした精神状況において生まれるものでしょう。

日々あくせく生活している私たちにとって、せめてこの文化の日文化というものをあらためて考え、例えば美術館や、音楽会等に足を運んだり、自ら何かの創作活動に取り組んだり、文化的なものに接してみたいものです。それが心を豊かにすることに繋がるでしょう。

道を歩くのに必要な道幅はせいぜい一メートルもあれば十分です。しかしもし幅一メートルで高さ十メートルの塀の上を歩けと言われれば、ほとんどの人は怖くて歩けないでしょう。歩くのに必要なくとも、精神的安定を求めるためにはその横にもう少し広い空間が必要なのです。それは人間にとっての必要な無駄でもあります。**一見無駄に見えても、人間にはそうした無駄が必要な**のです。そうした**必要な無駄こそが文化**といえるでしょう。その空間を広く抱えれば抱えるほど、心は安心できます。皆さんもこれからの人生を生きていくためにも**色々な文化に接し心豊かに生きて欲しい**ものです。